



平成26年度
冬季企画展

ちょっと昔の

道具たち

火のある暮らし



2015

1/6(火) ~ 3/8(日)

JR 関西本線 高井田駅から徒歩 5分
近鉄大阪線 河内国分駅から徒歩 15分

入館無料 9:30~16:30 月曜休館

柏原市立歴史資料館

大阪府柏原市高井田1598-1 ☎072-976-3430

火のある暮らし

人は火を使うことで、食べ物を料理するための道具、暗い場所を明るくするための道具、あたたまるための道具などなど、たくさんの道具をつくってきました。

ちょっと昔まで身のまわりにたくさんあった火は、火事ややけどを防ぐため、また電気を使う道具の登場などで、じょじょに出番が少なくなっています。たしかに、火事はおそろしく、かんたんに使える電気はとても便利です。ですが、火を使う道具を見てみると、火はわたしたちの暮らしを長く、深くささえていたことがわかります。

展示では、火を使ういろいろな道具を紹介しています。ちょっと昔の火のある暮らしとは、どんなものだったのか。ぜひ見に来てください。

- 展示してあるもの -

かまど、七輪、陶器製ガスコンロ / 行灯、ランプ、ろうそく立て / ひばち、ストーブ、風呂おけ、かいろ / ふうご羽回、鉄滓 / 火縄銃、香時計、ひのし、炭火アイロン、たばこ盆 / 竜吐水 ほか

i 体験教室

「わらざうりを作ろう」

2月1日(日) 13:00～16:00

定員15名 参加無料 当館3階 研修室

☎ 電話でお申込ください

i 市民歴史大学

テーマ『縄文から弥生へ』 定員100名
参加無料 申込不要 当館3階 研修室

- 1月17日(土) 13:30～15:00
矢野 健一氏 (立命館大学 教授)
「縄文人はなぜ稲作を始めたのか？」
- 2月14日(土) 13:30～15:00
設楽 博己氏 (東京大学大学院 教授)
「縄文晩期のまつり
—大阪平野と東日本の比較から—」